

ひのとひつじ さか
丁未 坂

東京都渋谷区恵比寿 2-8-13

TEL 03-5795-1147

設計・デザイン
(株)伯デザイン
倉澤 みゆき

茶会に招かれたような 親密でいて厳かな和仏料理店

効果的な柱と壁の配置が
新たな空間を作り出す

恵比寿駅周辺の喧騒から一歩踏み出た閑静な住宅街に完全予約制の和仏料理店『丁未 坂』はある。和のコースに、フレンチのメインとデザートが供されるというスタイルで、流行の創作和食や懐石風フレンチとは一線を画している。

坂オーナーが茶道に精通していることから、(株)伯デザインの倉澤氏はそこからここに茶室建築にヒントを得た意匠を施した。エントランス部分には桜材の柱と壁を新たに配し、長めのアプローチを創出している。床の洗い出し仕上げも茶室までの露地の風情を醸す。

小空間に生きる
季節感を演出する意匠

エントランスを抜けた先には、格子越しにカウンター席が覗かれる。この格子が入口からの視線に直接さらされることを防ぐ一方、奥床しい目通りのよさをも確保した。

カウンターに座った際に最も印象深く目に映るのは、壁面に設置された床の間を模した小空間だろ

う。上部には吊り戸棚が配されているが、夏は葎戸、冬は檜戸と建具を交換することもできる。「供される料理とともに、季節感の演出に一役買う意匠となる」と倉澤氏は語った。

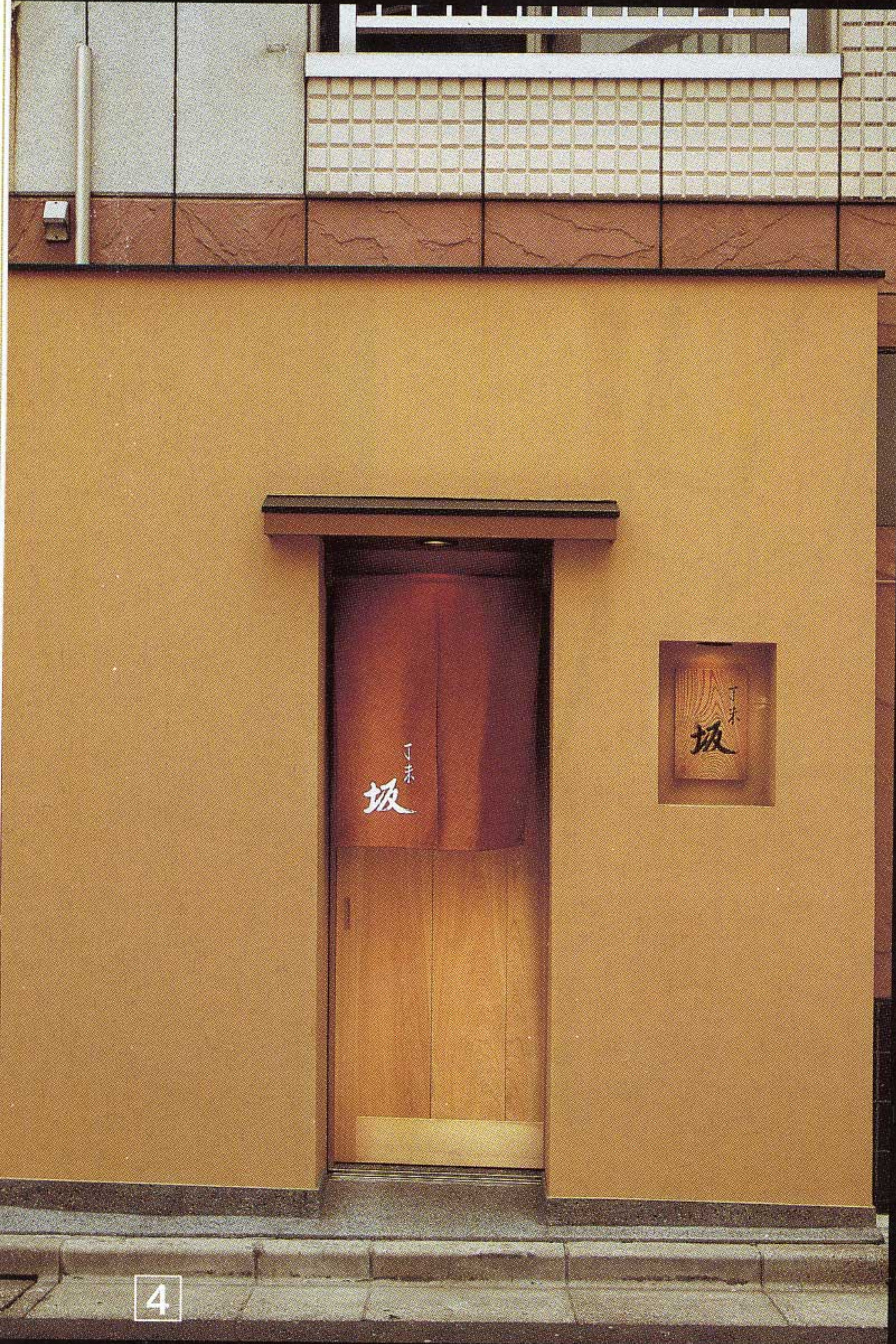
茶道精神の息づいた
たおやかな和空間

テーブル席の壁面下部に巡らされているのは、「腰貼り」と呼ばれる和紙だ。本来は訪れた客人の着物が擦れて汚れないようにと茶室の壁面に腰の高さまで貼られる。店内壁面に統一した色味で施されている和の素材感豊かな「聚楽(じゅらく)」とも大変相性がよい。店の内外問わず茶室独特の厳かな意匠が凝らされているが、必ずしも格式ばった窮屈さはなく、茶道にも通じる客人に対するさり気ない心配りこそが倉澤氏のデザインの主眼となっている。

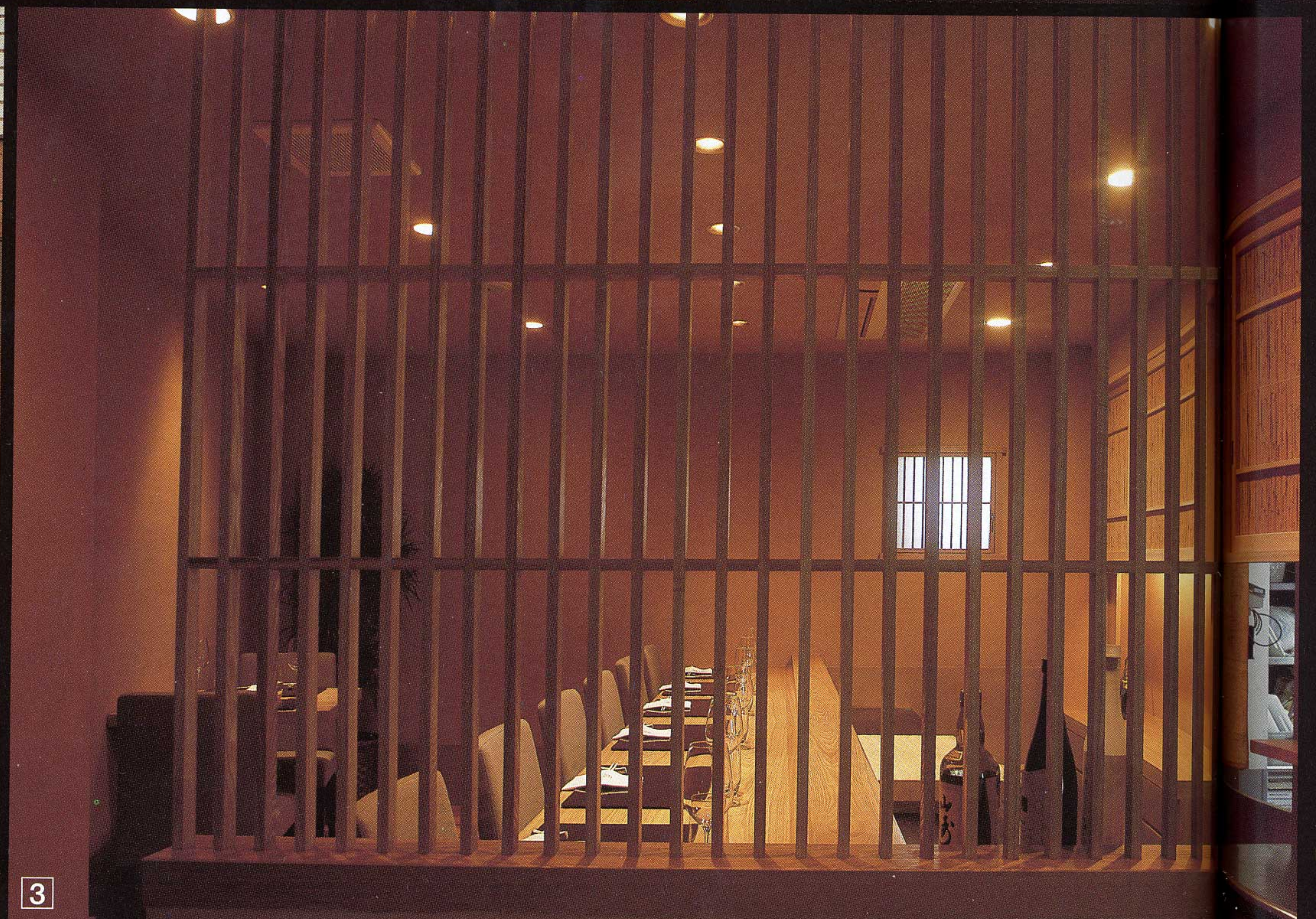


2

1



4



3